



あべともこニュース

検査、医療、生活を支える二次補正予算審議に向けて。

◆補正予算の3分の1を白紙委任？

政府は5月27日に第二次補正予算案(31兆9千億円)を閣議決定しました。前代未聞の規模ですが、驚くのは、そのうち3分の1にあたる10兆円が「新型コロナウイルス感染症対策予備費」であることです。

「予備費」とは用途が未定の予算です。「このままでは、安倍内閣にそれを「白紙委任」することになるのです。財源は全て借金(公債)です。将来にわたって償還(返済)を迫られる未来世代にも資する使い方でなければなりません。闇雲な大盤振る舞いにならないよう、審議で縛りをかけ、国会の役割を果たす必要があります。

◆ひとり親世帯にしっかり支援を

立憲民主党はじめ野党は、低所得のひとり親世帯を支援する「コロナ困窮子ども支援法案」を先月提出しましたが、政府の二次補正予算案にも、臨時特別給付金5万円が盛り込



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町) 当選7回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、衆議院厚労委員会/議員連盟「原発ゼロの会」事務局長



あべともこ 公式Twitter @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中!

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連

〒231-0012

横浜市中区相生町4-69-4F

TEL 045-228-8591

FAX 045-228-8592

まれました。ただし、政府案は一回こっきりの支援です。必要に応じた支援が、児童扶養手当世帯に継続されるよう、阿部ともこが座長を務める子ども子育て支援プロジェクトチームは、引き続き、求めていきます。

◆地方創生臨時交付金増額を県連要請

5月26日には、立憲民主党神奈川県連として第二次補正に向けた県・市・町から国への要望を取りまとめ、党本部に提出しました。「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の大幅な増額」などです。

同交付金は、自治体が地域の実情に合わせて使える予算であり、第一次補正に続き、第二次補正で4兆円を積み増すべきとしました。結果は半分の2兆円となりましたが、自治体の感染症対策の長期戦略を支えられるよう審議を尽くさねばなりません。



5月28日、認可外保育所について要請

◆無認可保育園の自粛協力にも支援を

新型コロナウイルス対策として登園自粛に協力すると、認可保育園の利用サービスタ料は公的に賄われています。ところが、認可外保育園は、登園自粛で通園しなくても、保護者が利用料を負担させられたり、または利用料を減額した保育園が困窮したりするケースが報告されています。

認可外保育園は待機児童対策の受皿であり、やむなく認可外に預ける保護者だけが経済的に不利な状況に陥るのは不公平。そこで二次補正予算で、認可保育園と同様の支援を国が行うよう厚労大臣に要請しました。